

★チャレンジ! 夢に向かって★

* ~ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成~

書店と連携した読書活動の推進

「読書の力によって、平和な文化的な国家をつくろう」という願いのもと、10月27日から11月9日までを読書週間とし、全国各地で読書の推進活動が行われています。本校では、校内「わたしの推し本コンテスト」でチャンプ本、準チャンプ本に選ばれた本を購入し、学校図書館前に置いています。さらに未来屋書店「中仙店」の店長、〇〇〇〇さんが手書きのポップ（本の紹介カード）を作成してくださいました。ありがとうございました。〇〇さんが作成して下さったポップを読むと、それぞれの本の素晴らしさや面白さなどをイラストを入れながら読みやすく、分かりやすく伝えており、思わず本を手にとり、読みたくなってきます。4年生は今、国語の学習でおすすめの本のキャッチコピーなどを考えながらポップや帯を作成しています。ぜひ、中尾さんが作成したポップを参考にしてほしいと思います。また、保護者の皆様の中で、ぜひ読んでみたい本があれば、お子さんを通じて借りることができます。



なお、文部科学省では地域の書店等との連携により、地域に根ざした子どものための読書環境を醸成する取組を進めています。本校では9月13日（金）に図書委員が書店を訪問し選書体験を行うなど、書店と連携した読書活動を進めています。中学校や高等学校で行っている学校はありますが、小学校で行っているのは、県内では本校が初めてです。ウィルholt・ディズニーは「宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。そして何よりも、宝を毎日味わうことができるのだ。」と、読書についての言葉を残しています。子どもたちにはこの秋、素敵な一冊に出会ってほしいと考えています。また、保護者の皆様からのお勧めの本があれば、お子さんにぜひ紹介してください。

ハロウィーン

10月31日は“ハロウィーン”。本校では校務員の〇〇〇〇〇さんが、児童玄関やワークスペース入口にハロウィーンの飾り付けをしてくれています。ハロウィーンは、キリスト教の国々にとっては特別な日です。2千年以上も前から行われている古代ヨーロッパのケルト人の伝統行事で、ケルト人にとって1年の終わりである10月31日の夜に、秋の収穫を祝い、亡くなった人たちを偲ぶしきたりに始まったお祭りです。ハロウィーンといえば、かぼちゃをくり抜いたお面を思い浮かべる人も多いと思いますが、あれはジャックランタンといい、かぼちゃのお面をかぶって変装するのだそうです。自分が生身の人間ではないことがバレないように、かぼちゃのお面をかぶって変装するのだそうです。そんなハロウィーンをぜひ家庭でも楽しんでください。